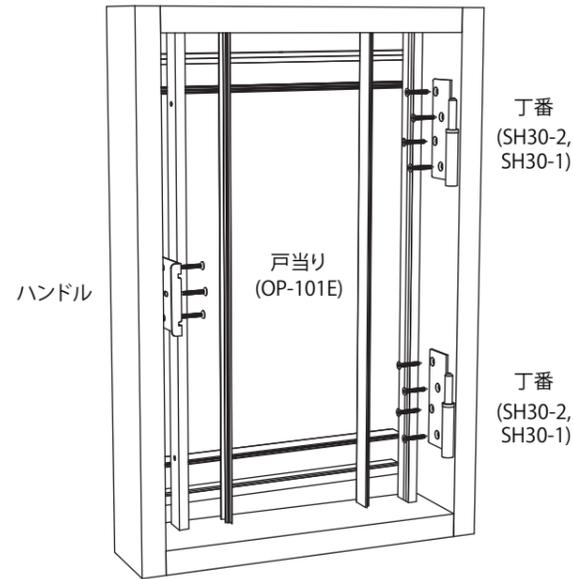


枠の概要

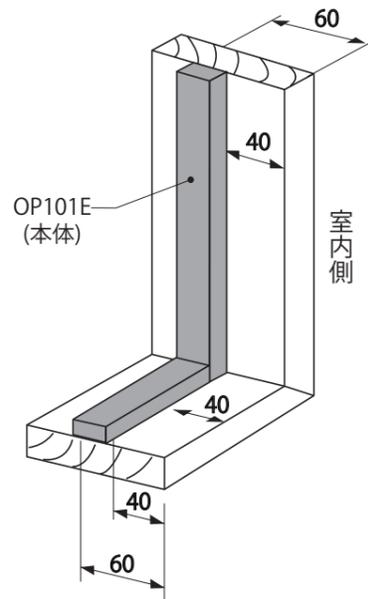
本図はOP101Eを使用した場合の図です。



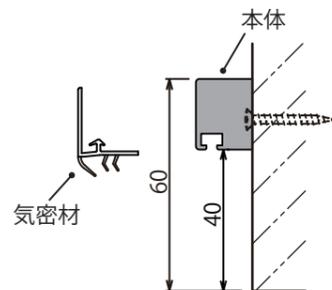
1 枠材の取付

OP101Eの場合

- ① PDL・PDS型の場合、木枠室内面から60mmの位置に墨付けして下さい。(前チリ3mmの場合)
- ② 図のように戸当り本体の角を墨付位置に合わせて、ビスで止めてください。

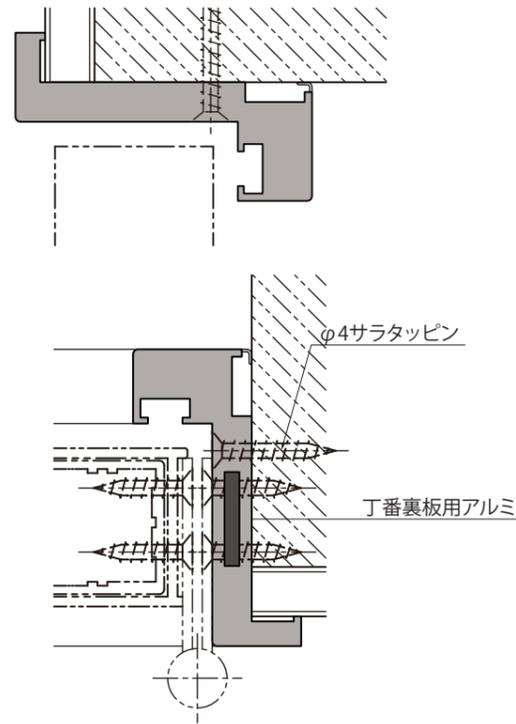


⚠ 本体と気密材は分離して取付けます。ヒレが室内側に来るように、本体の取付の向きに注意してください。



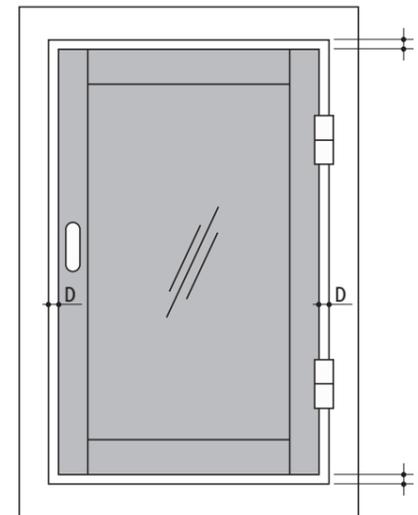
Z 枠の場合

組立後、取付け位置に設置し、ビス(M4皿頭)で固定します。気密材 (SP41B) は、枠の取付け後挿入してください。



2 障子の取付け

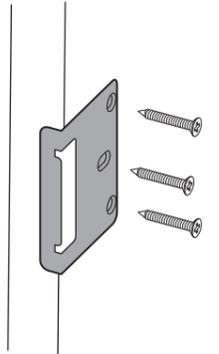
- ① 木枠室内面と障子とのチリ寸法「D」及「E」が均一になるように吊り込んで下さい。標準チリ寸法は3mmです。
- ② 障子を開閉してみて、スムーズに作動するかどうか確認します。良ければ残りのビスで丁番をしっかりとめてください。



3 受けの取付け

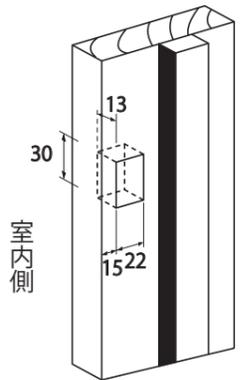
カムラッチハンドル仕様の場合

ドア本体のハンドル位置を確認の上、受けを取付けてください。見込み方向の位置は、ドア本体が気密材に当たる位置で納まるように調整してください。



レバーハンドル仕様の場合

- ① ドア本体のラッチ位置を確認の上、木枠にラッチ受の掘り込み穴をノミ等であけて下さい。掘り込み穴の寸法は、木枠室内面から15mmの位置に縦30mm、横22mm、深さ13mm。(右図参照)
- ② ラッチ受を皿ビスで固定して下さい。



⚠ 両面にハンドルを取付ける場合は、開口W、取付高さ、ハンドル形状による干渉などの製作制限があります。標準のレバーハンドルの場合、W≤600では取付けができません。

マグネットキャッチについて

障子と戸当りの当り具合を見ながら、気密材をはめ込んだ後に、キャッチ本体をビスで固定してください。

障子の大きさにもよりますが、目安として枠端部から100~200mmの位置に取り付けてください。

